

新年度始まりました

図書だより



入学・進学おめでとうございます。新しい環境になれないことも多いと思いますが、無理をしないようにして下さい。リラックスがてらに本でも借りに来て下さいね。それでは新刊の紹介です！



空前の衝撃作『ただ、それだけでよかったんです』著者、待望作！

この恋は、99パーセント《破滅》でできている——。「恋をしました、キミに——」



平凡男子高校生の雨ヶ崎誠也に突如訪れた非日常。それは、クラスの美少女からの、愛の告白だった。彼女の名前は日比野明日香、校内でも一際目立つ、超絶美少女だ。だが、彼女には、そばにいる人間を悉く不幸にする“死神”という噂があった。

けれど、それは完全な間違い。なぜなら、彼女が人を不幸にするのではなく、これから不幸になる人間を好きになってしまう、特異体質だったから。死神に好かれた者は、やっぱり破滅する。絶望する雨ヶ崎に、日比野は「悲劇を回避する術はある」と静かに告げた——。

『ただ、それだけでよかったんです』著者が放つ、絶体絶命の青春ミステリ第2巻！



これから不幸になる人間を好きになる死神、日比野に見初められてから1ヶ月。雨ヶ崎は彼女の助言で数々の災難を回避する。

だが、仮初の平和を打ち破るように起きた演劇部の倉庫全焼事件。なぜか部員から恨みを買った雨ヶ崎は、その裏側に日比野を狙う不穏な気配を感じ取るが……「偽りの感情とはいえ、貴方が好きなので」自分から離れない日比野と共に破滅の渦へ巻きこまれていく。

正義は一つじゃないかもしれないけど、真実は一つしかないはずです

放火殺人で死刑を宣告された田中幸乃。彼女が抱え続けた、あまりにも哀しい真実——極限の孤独を描き抜いた慟哭の長篇ミステリー。



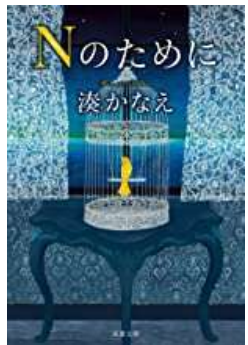
田中幸乃、30歳。元恋人の家に放火して妻と1歳の双子を殺めた罪により、彼女は死刑を宣告された。凶行の背景に何があったのか。

産科医、義姉、中学時代の親友、元恋人の友人など彼女の人生に関わった人々の追想から浮かび上がるマスコミ報道の虚妄、そしてあまりにも哀しい真実。幼なじみの弁護士は再審を求めて奔走するが、彼女は……筆舌に尽くせぬ孤独を描き抜いた慟哭の長篇ミステリー。

「シュート成功率が悪い」、「チームの得点力が低い」、「シュートチャンスをつくれられない」、「合わせのプレーが少ない」、「相手のディフェンスを崩せない」、「パスが繋がらない」、「チームメイトがみんな一生懸命動き回っているのに、なぜかうまく攻められない」……。それらの原因は、ほとんどの場合、オフボール(ボールを持っていない)プレイヤーの動き方にあります。バスケットボールに取り組み始めたプレイヤーはもちろん、ある程度、経験のあるプレイヤーでも「オフボールの動き方が分からない」という人は多いのではないのでしょうか？



本書では、そんなオフボールの動き方の基本の考え方と、実戦での生かし方を、誰でも簡単に理解できるように解説しています。オフボールのときにどのように動くかは、チームの勝敗に直結する要素です。チーム内で正しい知識を共有できれば、これまでよりもずっと楽に得点を上げて、勝つことができることでしょう。チーム力を最大にするカギは、オフボールの動き方、止まり方、合わせ方にあるのです。



超高層マンション「スカイローズガーデン」の一室で、そこに住む野口夫妻の変死体が発見された。現場に居合わせたのは、20代の4人の男女。それぞれの証言は驚くべき真実を明らかにしていく。

なぜ夫妻は死んだのか？それぞれが想いを寄せるNとは誰なのか？切なさに満ちた、著者初の純愛ミステリー。



累計10万部突破！47都道府県擬人化マンガ第2弾。第2弾もウェブ漫画（単行本用にすべてリニューアルしたもの）に描き下ろし多数を加えた充実の240ページ。

- 都道府県紹介マンガ～道州制をご存知ですか？
- 各県（キャラ）紹介
- 県民性マンガ（4コマなど）
- 特別読み切り～おいでよ、よさこい!!



ここ数年、惑いに流されている北町貫多。あるミュージシャンに招かれたライブに昂揚し、上気したまま会場を出た彼に、東京タワーの灯が凶暴な輝きを放つ。その場所は、師・藤澤清造の終焉地でもあった――。

何の為に私小説を書くのか。静かなる鬼気を孕む、至誠あふれる作品集。「芝公園六角堂跡」とその続篇である「終われなかった夜の彼方で」「深更の巡礼」「十二月に泣く」の四篇を収録し、巻末に、新たに「別格の記——『芝公園六角堂跡』文庫化に際して」（18枚）を付す。



ぼくたちは、名前を失いかけていた。大切にしていたものや、大好きなものや、家族や友だちを失いかけていた。一つの大きな「ゼンタイ・モクヒョウ」に向かって「ジウゾク」させられていた。

なぜ、こんなことが起きているのか、わからなかった。なんのために生きているのか、わからないまま生きていた。名前ではなく番号で呼ばれる灰色の世界を舞台に、大切なものを守るために何ができるかを問う少年少女向けSF小説。



「絶望」から「希望」を信じた男がいた。慶国に新王が登極した。即位の礼で行われる「たいしや大射」とは、鳥に見立てた陶製の的を射る儀式。

陶工である不緒（ひしょ）は、国の理想を表す任の重さに苦慮する。希望を託した「鳥」は、果たして大空に羽ばたくのだろうか

表題作「不緒の鳥」ほか、己の役割を全うすべく、走り煩悶する、名も無き男たちの清廉なる生き様を描く短編4編を収録。



内人と創也は、遊戯盤で莫大な財産を築いたといわれる黒須幻充郎からパーティーに招待され、豪華客船に乗り込む。会場はかつて、クロスランドが建設されることになっていた、人工島。電波も通じない孤島で、栗井栄太らも参加する、命がけのゲームが幕を開ける。

どこかに隠されたらしい黒須の遺産の行方、ゴンドラやミラーハウスでのサバイバル、複雑にからむ人間関係……。謎多き頭脳集団（プランナ）の幹部候補生・浦沢ユラの動きからも、目が離せない。



新一年生へ
はじめまして。昨年のゆるキャラグランプリで門中図書館のゆるキャラに選ばれました、
☆うーぱーるーぱー☆
です。ぜひ私に会いに、そして本を借りに来てください。これからよろしく願いします。